

Think! Think! の5分野



思考センスとは、抽象的に思考する上で土台となるイメージの力。

私たちは、思考センス（=イメージ力）を

「空間認識」「平面図形」「試行錯誤」「論理」「数的処理」の5つの分野に分けて捉えています。

Think!Think!では、

特に10歳までだからこそ大きく伸ばすことができる「空間認識」「平面図形」、

また全ての問題に取り組む基本姿勢である

「試行錯誤」の各分野に優先的に取り組めるカリキュラムを提供します。

空間認識

はこになる？

空間認識

展開



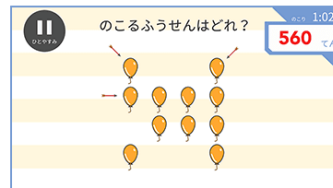
展開図問題は、立体を「できる!」と思うための登竜門であり、初めてのつまずきになりやすい分野でもあります。本問題では、最も基本的な立体である立方体・直方体の展開図に親しみ、頭の中で自在に展開図を組み立てられる力を育てます。

平面図形

ラッキーバルーン

平面図形

補助線

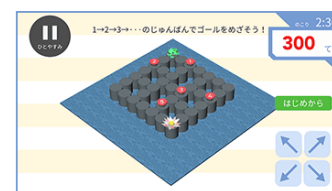


筋の良い補助線を引くセンスは、一般的には生まれ持ったものとされがちです。本問題では、矢の延長線上のバルーンを想像することで、適切な補助線が「見える」ようになるための基礎を楽しみながら鍛えることができます。

試行錯誤

じゅんばんめいろ

試行錯誤

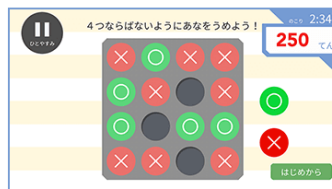


あらゆる問題において、「まずやってみよう」という姿勢は何より重要で、能力以前の前提条件だといえます。本問題では、そのような姿勢とともに、同時にいくつもの「数」を把握し、筋の良い道筋を想像しながら試行錯誤する力を育てます。

論理

4つならべないで

論理



小学校低学年までのお子様は、年代として、言語にもとづく論理性は習得しづらいもの。本問題は、言語を伴わないパズルだからこそ、「ここは×で決まる」と必要条件から絞り込んで論理的に考える経験を、楽しく積み重ねることができます。

数的処理

いくつおおい？

数的処理



工夫して数える成功体験を積むことで、「工夫するって楽しい、良いことだ」という感覚を培います。特に本問題は、計算を工夫することで素早く正確に行う力に繋がるとともに、対称性などの平面図形感覚も養われます。